

2025年4月11日

各位

会社名：日本エンタープライズ株式会社
代表者の役職名：代表取締役社長 杉山浩一
(コード番号 4829 東証スタンダード)
問合せ先責任者：専務取締役 田中 勝
TEL：03-5774-5730

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年7月12日に公表した2025年5月期(2024年6月1日~2025年5月31日)の連結業績予想の修正、個別業績予想の開示につきまして、下記のとおりいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

2025年5月期通期連結業績予想の修正(2024年6月1日~2025年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,310	百万円 295	百万円 300	百万円 185	円 銭 4.80
今回修正予想(B)	4,510	65	85	15	0.39
増減額(B-A)	△800	△230	△215	△170	
増減率(%)	△15.1	△78.0	△71.7	△91.9	
(ご参考)前期実績 (2024年5月期)	4,696	264	278	209	5.43

<修正の理由>

売上高につきましては、クリエイション事業における通信キャリアの定額制コンテンツの販売促進及び新タイトル投入により「コンテンツサービス」が増進しているものの、「ビジネスサポートサービス(キッキング支援)」の法人向け代行サービスに端末不足による遅延が生じている他、新ツールの販路拡大に時間を要しており、またソリューション事業における「システム開発サービス」の復調の遅れ等により、800百万円減の4,510百万円を見込んでいます。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、売上高が当初予想を下回る他、月額コンテンツ会員を拡大路線へ転換させる積極的な広告宣伝費の投下等により営業利益230百万円減の65百万円、経常利益215百万円減の85百万円、親会社株主に帰属する当期純利益170百万円減の15百万円を見込んでいます。

※今後について

自社で保有する権利や資産を活用したサービスを提供するクリエイション事業における一般消費者向け「コンテンツサービス」については、引き続き通信キャリアの定額制コンテンツの拡充や新タイトル投入を図るとともに、月額コンテンツについては、プロモーション強化に注力し月額会員を拡大路線へ転換させてまいります。

また、法人向け「ビジネスサポートサービス」については、特にキッキング支援において、引き続き大量のスマートフォンを同時に自動設定ができる高品質なツール販売及びその代行サービスの拡充に注力するとともに、新ツールの販路拡大により大きく業績を牽引してまいります。

法人向けシステムの受託開発・運用を主な業務とするソリューション事業における「システム開発サービス」については、引き続き企業のDX投資意欲は総じて高く、クリエイション事業で培ったノウハウを活かしたトータルソリューションサービスを提供し既存顧客への深耕と新規顧客の獲得を推し進めてまいります。

2. 個別業績予想の修正について

2025年5月期通期個別業績予想の修正(2024年6月1日~2025年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値(A) (2024年5月期)	百万円 2,135	百万円 100	百万円 115	円 銭 3.00
当期業績予想(B) (2025年5月期)	2,210	△40	△45	△1.17
増減額(B-A)	74	△140	△160	
増減率(%)	3.5	—	—	

<開示理由>

当事業年度における業績につきましては、予想開示を省略しておりましたが、以下の理由により、前事業年度の実績値との差異が生じる見込みとなりましたので開示いたします。

売上高につきましては、ソリューション事業における「システム開発サービス」「その他サービス」等が減少しているものの、クリエイション事業における「コンテンツサービス」が通信キャリアの定額制コンテンツの販売促進及び新タイトル投入並びに月額コンテンツのプロモーション強化に伴い増勢に推移しており、前期実績値を上回る見込みです。

経常利益、当期純利益につきましては、通信キャリアの定額制コンテンツにおける運営管理費の増加、月額コンテンツ会員を拡大路線へ転換させる積極的な広告宣伝費の投下及びベースアップ実施に伴う人件費の増加等により、経常利益 140 百万円減の△40 百万円、当期純利益 160 百万円減の△45 百万円を見込んでいます。

以上